

繋ぎタイプ

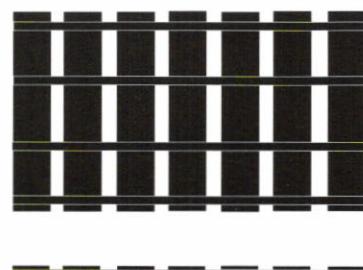
特徴

- 成牛舎のストールを活用している場合が多い。その場合は、牛体の大きさと牛床サイズが一致しないため、敷料が不足したり、交換をこまめにしないと牛体が汚れる。
- 牛床の上にスノコを敷くことで、尿を逃がして牛体や敷料が濡れることを軽減できる。
- バーンクリーナーがない場合には、除糞・汚れた敷料処理作業の負担が大きい。



スノコ利用

スノコ略図 上



横

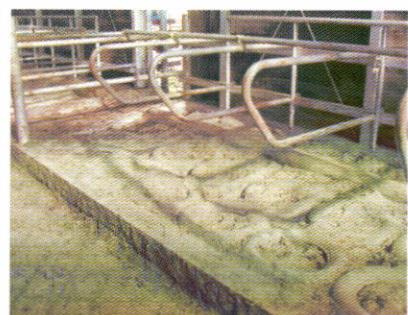
牛床床面

素材

- ① 火山灰、火山粒、火山礫、黒ボク、白ボク、砂、土

特徴

- 表面が掘れて凹凸になりやすいため、日常的に補充、表面の均しなどの管理が必要。
- ストールの寸法があつてないと、牛床内に糞尿が落ち、それが混ざり合いドロドロになりやすい。
- 透水性の高いものがベスト。
- 牛床施工時は厚さを15cm以上にする。
- 管理の手間（土の補充、表面の均し）を軽減するため、古タイヤを埋め込んである事例もある。



- ② ゴムチップマットレス

特徴

- ゴムチップなどの柔らかい材料を合成繊維製の袋に詰め込み、防水性のシートで覆ったもの。
- クッション性に富み、快適性にすぐれている。
- 吸水性がないため、敷料は必要である。
- 耐用年数は、素材の改善が進んでいるが、数年から10年程度である。

価格 ¥15,000／頭（施工費込み）



③ゴムマット

特徴

- ・従来品の薄くて、硬いゴムマットから、厚手で柔らかいマットも出てきている。
- ・製品によっては、糞尿などで濡れると滑りやすくなる。
- ・敷料は、1cm程度の硬いゴムマットを使用している場合、2~3cmの厚手のゴムマットに比べ、クッション性を確保するために多く必要になる。
- ・耐用年数は、素材の改善が進んでいるが、製品によってバラツキが多い。

価格 ￥12,000／頭～(施工費込み)



④コンクリート

特徴

- ・強度・耐久性が高く、床面の摩耗が少ない。
- ・クッション性が全くないため、敷料を大量に入れる必要がある。
- ・寝起きの際、滑るので工夫が必要。
- ・清掃や消毒が容易である。



敷料

敷料は、床面がコンクリートの場合はもちろん、ゴムチップマットレスや、ゴムマットを使っていても、牛体を清潔で乾燥させておくためには必要なものです。敷料には、オガコ、バーク、麦カン、モミガラ、乾草、火山灰、砂、バガス、粉碎木等があります。安定的に手に入れられるものを利用します。どの敷料を利用するにしても、日頃から敷料の補充・交換作業をこまめに行う必要があります。



①乾草・麦カン

① 乾草、麦カン

- ・吸水性に優れている。
- ・保温性、弾力性がある。
- ・細菌数が少ない

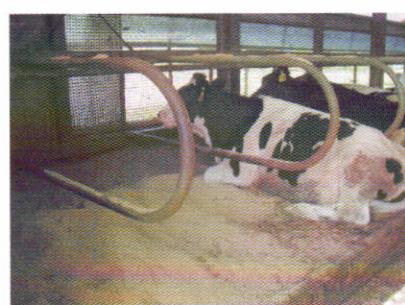


②オガコ

② オガコ

- ・吸水性は麦カン、乾草に劣る。
- ・保温性、弾力性がある。

価格 ￥4,000／m³

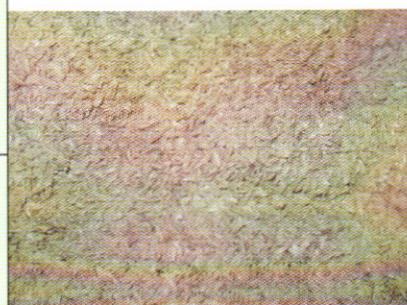


③砂

③ 砂 (粘土含有率2%以下のもの)

- ・クッション性に優れている。
- ・表面の排水性がよい。

価格 ￥4,000／m³



④モミガラ